

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽

広島県緑化センターメールマガジン VOL.292 H27.4.25

△▽△▽▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲

ハンカチノキの総苞片が開き始めました。4月29日の「みどりの集い」では、満開の状態で見られそうです。

★開花情報

ハンカチノキ オオギリ科ダヴィデア属※(写真1)

別名ハトノキとも呼ばれ、広島県ではなかなか見ることのできない珍しい木です。落葉高木で、自生地は中国大陸西南部の標高1000~2000mの高地に限られます。5月初めに球形の花序の基部から2枚の白い総苞片が垂れ下がります。この総苞片をハンカチに見立てて名付けられました。総苞片の出始めは淡緑色を帯びていますが、後に白色になります。花には独特の香りがあります。(※ミズキ科やダヴィデア科に分類する考えもあります。)

場所：管理事務所前

セイヨウバクチノキ(西洋博打木)バラ科サクラ属(バクチノキ亜属)(写真2)

ヨーロッパ~西アジア原産の常緑低木で、昨年に続き今年も開花しました。艶のある大きな葉を持ち、生け垣や庭木に利用されます。前年枝の腋に長さ10cm程の総状花序を伸ばし、小さな花を多数つけます。類似種のバクチノキやリンボクの開花期は秋ですが、本種は4~5月に開花します。

場所：薬草園横

キリシマツツジ(霧島躑躅)(写真2上)

江戸時代に江戸を中心に育成されたツツジで、ヤマツツジとミヤマキリシマの交配、またはサタツツジから作られたと考えられています。白や赤、ピンク、紫等の花色があり、庭園や生け垣等に利用されます。

場所：管理事務所横三叉路他

また、ヒラドツツジやキシツツジ(写真3左下)、セイヨウシャクナゲ(写真3右下)の花も見られます。

緑化センターホームページ(<http://ryokka-c.jp/>)にサクラ、その他の開花状況を掲載していますので、ぜひご覧ください。また園内にも、各月の開花マップがレストハウスにありますので、来園の際にはお立ち寄りください。

開花等の詳細は緑化センター管理事務所(082-899-2811)へお問い合わせください。

★その他の園内開花情報

開花	エヒメアヤメ、オキナグサ、フデリンドウ、カリン、リキュウバイ、ナガバモミジ、イチゴ、ハナカイドウ、ユキヤナギ、ウワミズザクラ、ザイフリボク、八重桜(兼六園菊桜、佐野菊桜、松月、紅華、一葉、関山、紅普賢)、オオモミジ、コバノガマズミ、ツバキ各種、ハナミズキ、オウバイ、ハナズオウ、ドウダンツツジ他
----	---



写真1 ハンカチノキ (管理事務所前) H27.4.24



写真2 セイヨウバクチノキ (苗畑向い生垣) H27.4.24



写真3上 キリシマツツジ（管理事務所横三叉路） H27.4.24



写真3左下 キシツツジ（作業舎裏） H27.4.24



写真3右下 セイヨウシャクナゲ（管理事務所横） H27.4.24